

授業科目 臨床血液学 I

【担当教員名】 大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GI0】					
<ol style="list-style-type: none"> 血液疾患とその検査学に必要な正常な状態における血液成分の産生、形態、機能について理解する。 凝固止血機構の検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 血液の概要を述べる。 血液細胞の分化、成熟、崩壊に至る造血過程について説明できる。 血液細胞の生体内での機能について説明できる。 血液細胞の形態について説明できる。 止血機構について解釈する。 凝固線溶系の仕組みについて説明できる。 正常状態における血液の基礎について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	血液の概要 血液の成分と機能			1	講義
2	血球の種類と生成、分化、成熟、崩壊			2	講義
3	正常赤血球の形態と機能			2-4	講義
4	赤血球の分化・成熟と形態変化			2-4	講義
5	ヘモグロビンの構造と代謝			3-4	講義
6	鉄の代謝、葉酸、VB12の代謝			3-4	講義
7	正常白血球の種類と形態			2-4	講義
8	正常白血球の機能（1）			3	講義
9	正常白血球の機能（2）			3	講義
10	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（1）			2-4	講義
11	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（2）			2-4	講義
12	出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血			5	講義
13	凝固機序、凝固因子の種類			5-6	講義
14	線維素溶解の機序、凝固と線溶の関係			6	講義
15	凝固線溶系の制御機構			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書					
その他の資料		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】 講義の内容は広範囲になるので予習、復習を必ずしておくこと。また、不明な点は質問をするなど早期に解決すること。			